

2021年2月1日

「新・海外研修助成事業」策定と2020年度実施延期のお知らせ

教育委員長 内田伸恵

従来の「診療放射線技師海外研修助成事業」では、若手診療放射線技師を対象に、海外先進放射線治療施設での短期研修・見学・教育研修の受講を助成してきました。このたび医用原子力技術研究振興財団から毎年度100万円のご支援を受けることが決定し、「新・海外研修助成事業」を策定しました。新制度では、対象を放射線治療担当の医師、メディカルスタッフ（診療放射線技師・医学物理士・看護師）に広げ、助成金上限も増額します。

但し、現在の新型コロナウイルス感染症蔓延の状況を鑑み、今年度の海外研修助成事業の実施は難しいため、1年程度延期することといたします。2020年度は募集をいたしませんのでご注意ください。

「新・海外研修助成事業」について

従来の海外研修助成事業を発展させ、今後は、以下の概要にて、実施いたします。

「新・海外研修助成事業」開始の暁には、多くの皆様のご利用をお待ちしています。

概要

募集人数：医師2名 以内

メディカルスタッフ（診療放射線技師・医学物理士・看護師）3名以内

助成金額：渡航費用および滞在費等（1名につき30万円を上限）

応募資格：

海外の先進施設の研修・見学及び海外で受ける教育研修を予定する者で、以下の条件を満たす者。

（ア）放射線治療に従事する医師、メディカルスタッフ（診療放射線技師・医学物理士・看護師）であること。

（イ）応募年度4月1日時点で45歳以下であること。

（ウ）日本放射線腫瘍学会の正会員・准会員であること。

（エ）応募年度までの年会費を完納していること。

（オ）応募締め切りの翌年3月までに渡航できること。

（カ）予定する研修に対して他の助成金等が確定していないこと。

（キ）応募について所属長の承諾を得ていること。

助成者の義務：

（ア）帰国後すみやかに、研修報告書(様式任意)、会計報告書を提出する。

(研修報告書は後日 JASTRO NEWSLETTER および医用原子力技術研究振興財団 発行の広報誌「医用原子力だより」に掲載させていただきます。